厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

# ACCESSプロジェクトへのご協力のお願い：
# ガイドに沿った勧奨法の概要

研究代表者：島根大学医学部精神医学講座　稲垣 正俊
（研究事務局：岡山大学病院精神科神経科　藤原 雅樹）

# ACCESSプロジェクトの概要

- 統合失調症患者さんに、がん検診を勧奨するプロジェクトです
- 患者さんからもご評価頂いた、有効性が確認された勧奨法です
- 勧奨法を外来で実践するガイドに沿って、貴院でのがん検診勧奨の実施を検討し、実践をお願いします
- 後日、うまくできたかどうかお教えください

# 精神科外来で実施する、有効な個別のがん検診勧奨法

**勧奨実施手順**

コンタクト初日・・・面接

A)大腸がん検診の説明と受診勧奨
B)対象者に応じた検診施設の紹介、予約支援
C)必要に応じた無料券の手続き説明
- B、Cは対象者が判断先送りするケースは2回目以降のコンタクト時に実施

↓

2回目のコンタクト、1～2週間後を目安・・・電話/再診時に面接

D)勧奨後のフォロー連絡
- 受診に向けた手続きの進捗確認と必要な指導
- 受診・提出済であれば、結果通知の確認、精査受診を促す
- 判断先送りケースへの再勧奨、受診意思あればB,Cの支援

↓

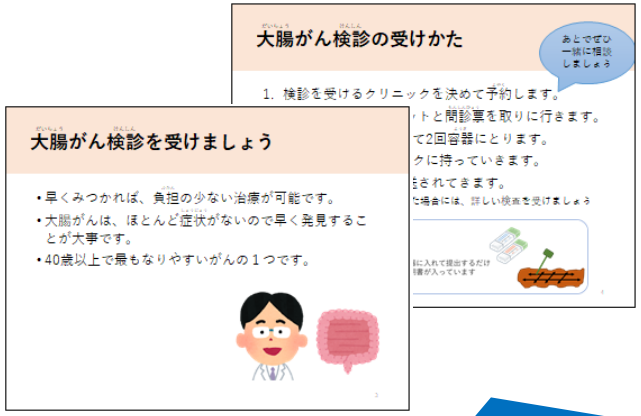
3回目のコンタクト、8週間以内を目安・・・電話/再診時に面接

D)勧奨後のフォロー連絡
- 受診に向けた手続きの進捗確認と必要な指導
- 受診・提出済であれば、結果通知の確認、精査受診を促す
- 判断先送りケースへの再勧奨、受診意思あればB,Cの支援

↕ 個々の状態にあわせた受診勧奨・支援(ケースマネジメント)

※患者の状態に合わせて、フォローは適宜増減

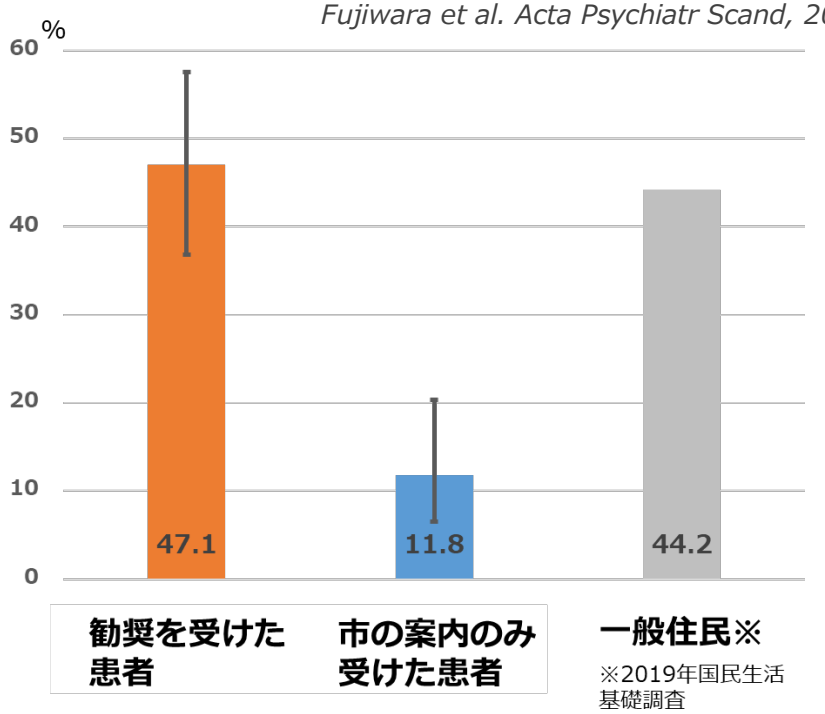
- ✓ NsやPSWによる、個別の直接勧奨
- ✓ わかりやすいパンフレットを作成
- ✓ 検診施設の紹介、予約支援
- ✓ 無料券の取得支援
- ✓ 進捗確認



**主として大腸がん検診を勧奨**

## 無作為化比較試験で大腸がん検診受診率の向上効果を確認

*Fujiwara et al. Acta Psychiatr Scand, 2021*



# 「がん検診勧奨実施ガイド」に沿えば実践できます

精神科医療機関における

がん検診勧奨実施ガイド

令和５年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
「精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティの向上に資する研究」班

2023年x月x日　第1.0版作成

- 外来で組織的に勧奨に取組むためのガイド
- 院内で何をどのように準備を進めればよいかの手順を記載
- がん検診・勧奨方法の教育資料は研究ホームページから動画視聴、ファイルダウンロードが可能

# ガイドに沿ったがん検診勧奨実践の流れ

## ガイドに沿った勧奨を実施する病院

病院長

ガイドの説明を受ける

↓ ①　勧奨運営委員を組織

がん検診勧奨運営委員

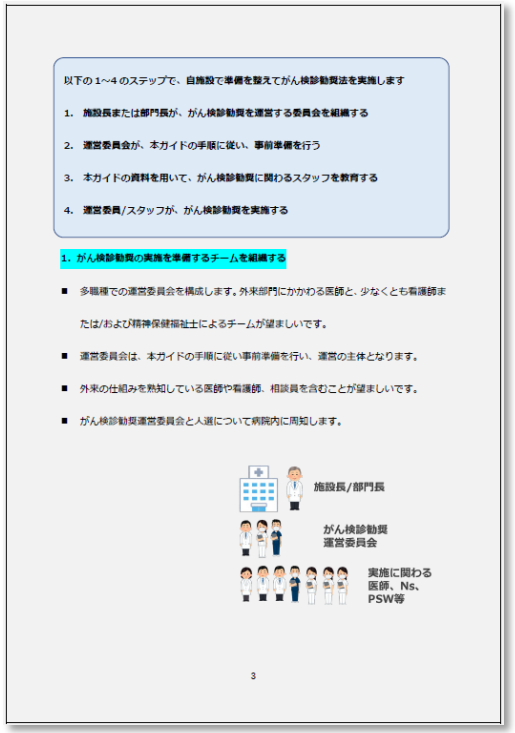
ガイドの説明を受ける
教育資料・勧奨資料を利用
随時/定期打ち合わせの機会

↓ ②事前準備、③スタッフ教育

現場の
スタッフ

④　実臨床で勧奨を実施

# 誰がどのように準備を進めればよいか記載されています



以下の 1~4 のステップで、自施設で準備を整えてがん検診勧奨法を実施します

1. 施設長または部門長が、がん検診勧奨を運営する委員会を組織する
2. 運営委員会が、本ガイドの手順に従い、事前準備を行う
3. 本ガイドの資料を用いて、がん検診勧奨に関わるスタッフを教育する
4. 運営委員/スタッフが、がん検診勧奨を実施する

1．がん検診勧奨の実施を準備するチームを組織する

- 多職種での運営委員会を構成します。外来部門にかかわる医師と、少なくとも看護師または/および精神保健福祉士によるチームが望ましいです。
- 運営委員会は、本ガイドの手順に従い事前準備を行い、運営の主体となります。
- 外来の仕組みを熟知している医師や看護師、相談員を含むことが望ましいです。
- がん検診勧奨運営委員会と人選について病院内に周知します。

施設長/部門長

がん検診勧奨運営委員会

実施に関わる医師、Ns、PSW等

3

**病院長**

**① 勧奨運営委員を組織**

**多職種での運営委員会を構成**
**ー医師、外来NsやPSW**

**がん検診勧奨運営委員**

**②事前準備、③スタッフ教育**

**がん検診、勧奨法を理解する**
**勧奨資料を自施設にあわせて修正**
**勧奨法の院内での運用方法を決める**
**現場のスタッフを教育する**

**現場の**
**スタッフ**

**④ 実臨床で勧奨を実施**

# 教育資料、勧奨資料

**https://access2.hospital.okayama-u.ac.jp/**

## 動画

精神科外来場面でのがん検診勧奨法の概要（4:56）

勧奨資料を用いた大腸がん検診の説明方法（3:51）

勧奨資料を用いた受診先の決め方（4:36）

翌年度以降のチラシ勧奨（1:26）

## 勧奨資材

### Power Point

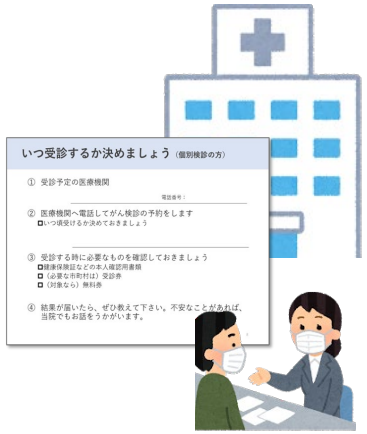
- 個別勧奨資料
- 勧奨チラシ

# 勧奨法の概要

40-69歳の統合失調症患者
＝がん検診未受診ハイリスク者

たとえば、
40/50/60歳を迎える患者※

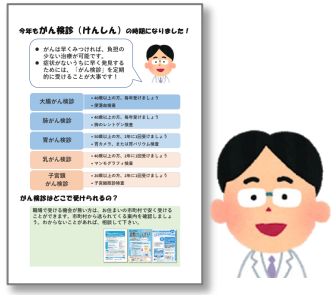
※患者数やスタッフのリソースに
あわせて各施設で調整する




初年度は個別勧奨の実施を準備、
実施いただく

ケースマネジメントによる
個別勧奨

2年目からは、
チラシ勧奨＋個別勧奨を
実施頂く

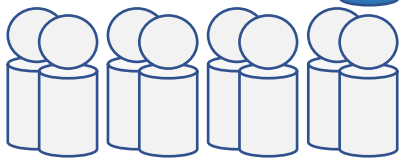





継続的に、担当医がチラシ
を用いた簡易勧奨
（チラシ勧奨）

翌年度以降

40-69歳
の患者



近隣市町村のがん検診実施時期
を踏まえ、自施設で勧奨を実施
する期間を設定いただく

# プロジェクトへご参加いただく流れ

**参加登録**

R6-7年度

- 説明資料をもとに、ぜひ参加をご検討ください
- 参加いただける場合、回答票の返送/メールをお願いします
- 事務局から担当窓口の方にご連絡させていただきます

**勧奨の実践**

R6-7年度

- 勧奨運営チームの方を中心に準備
- R6あるいはR7年度からがん検診勧奨を実践

**実践の確認**

R7年度

- 実践初年度に勧奨がどのように実施できたを質的に調査

# ぜひご協力をよろしくお願いいたします

問い合わせ先

藤原雅樹（研究事務局）
岡山大学病院精神科神経科
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL: 086-235-7242
E-mail: mfujiwara@okayama-u.ac.jp

稲垣正俊（研究代表者）
島根大学医学部精神医学講座
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
TEL: 0853-20-2262
E-mail: minagaki@med.shimane-u.ac.jp